

第1章 倍数算 (1)

Q1

BはAの2倍です。
合計は450円です。
A・Bそれぞれの金額は何円ですか。

Q2

BはAの2倍よりも50円多い。
合計は500円です。
A・Bそれぞれの金額は何円ですか。

Q3

BはAの3倍よりも70円少ない。
合計は730円です。
A・Bそれぞれの金額は何円ですか。

Q4

BはAの3倍です。
合計は600円です。
A・Bそれぞれの金額は何円ですか。

Q5

BはAの3倍よりも20円多い。
合計は420円です。
A・Bそれぞれの金額は何円ですか。

Q6

BはAの3倍よりも30円少ない。
合計は390円です。
A・Bそれぞれの金額は何円ですか。

Q7

今、AとBの差は400円です。
AとBとが20円ずつ増えたので、
BはAの3倍になりました。
AとBそれぞれの金額は
何円になりましたか。

Q8

初め、AとBの差は600円でした。
次に、
AとBから30円ずつ減らしたので
BはAの3倍になりました。
それぞれの金額は、初め、何円でしたか。

Q9

大は580円、小は180円でした。
同じだけ値上がりしたので
大は小の3倍になりました。
値上げ額は何円ですか。

Q10

AとBとは同じ数であったが
Aから400を引き
Bに200を加えたので
BはAの4倍になった。
A・Bそれぞれいくらになりましたか。

第2章 単位と総量 (1)

第1節 延べ

Q1

15人で12日かかる仕事は
延べ何日の仕事ですか。
また、延べ何人の仕事ですか。

Q2

延べ360日の仕事を24日するには1
日何人必要ですか。

Q3

36人で10日かかる仕事を
5人ですると、何日かかりますか。

Q5

36人で10日かかる仕事を
72人で4日した後
残りを2日で仕上げるには
1日あたり何人必要ですか。

Q6

18人で20日かかる仕事を
15人で8日した後
残りを12日で仕上げるには
毎日何人の人数が必要ですか。

第2節 帰一算

Q1

2人で5日かかった仕事に対し
10万円払いました。
同じように支払うこととするとき
3人で10日かかる仕事には
何円支払うことになりますか。

次の①～④の問いに答えなさい。

- ① 10万円の仕事は延べ何日の仕事か。
- ② 1人1日当たりの日当は
何円になるか。
- ③ 3人で10日かかる仕事は
延べ何日の仕事ですか。
- ④ ③の仕事には、何円必要ですか。

Q2

3人が、毎日6時間働いて
5日間に
360個の品物を作りました。

この速さで

5人が、毎日5時間ずつ5日間
品物を作りました。

- ① 1人が1個の品物を作るのに
必要な時間はどれだけですか。
- ② 1人が1時間に作れる品物の個数
- ③ 5人が毎日5時間ずつ5日間にする
総仕事時間数は何時間か？
- ④ 5人が5日間に作った
品物の個数はいくつか？

第3節 平均

Q1

A・B・Cの3人の所持金の平均は3600円です。
D君のお金を加えると
4人の平均は3000円になるそうです。

- ① A・B・Cの3人の所持金の合計金額は何円ですか。
- ② 4人の合計金額は何円ですか。
- ③ Dさんは何万円持っていましたか。

Q2

A君・B君・C君の所持金の平均は150万円です。
D君の持っているお金は190万円です。

- ① A・B・Cの3人の所持金の合計金額は何円ですか。
- ② 4人の合計金額は何円ですか。
- ③ 4人の所持金の平均は何円ですか。

Q3

Aさんのテスト3回の平均点は78点です。
4回の平均点を80点を超えさせたい。

- ① Aさんの3回の合計点数は何点か。
- ② 4回の合計点数が何点を超えれば平均点が80点を超えますか。
- ③ 4回目の点数が何点を超えれば②のようになりますか。

Q4

AとBの平均は、68点
BとCの平均は、79点
CとAの平均は、75点です。

- ① 3人の合計は何点ですか。
- ② 3人の平均点は何点ですか

Q5

クラスの生徒のうち
Aグループ20人の平均点が90点
Bグループ5人の平均点が60点です。

- ① Aグループの合計点は何点ですか。
- ② Bグループの合計点は何点ですか。
- ③ クラス全員の合計点は何点ですか。
- ④ クラス全員の平均点は何点ですか。

Q6

A・B・C・D・Eの平均点が80点
A・B・Cの平均点が70点です。

- ① 5人の合計点は何点ですか。
- ② A・B・C3人の合計点は何点ですか。
- ③ D・E2人の計点は何点ですか。
- ④ D・E2人の平均点は何点ですか。

Q7

A・B・Cの平均点が79点
C・D・Eの平均点が82点です。

- ① A・B・Cの合計点は何点ですか。
- ② C・D・Eの合計点は何点ですか。
- ③ 5人の計点は何点ですか。
- ④ Cの得点は何点ですか。

第3章 相当算

Q1

ある数の0.8倍が120です。
ある数はいくらか。

Q2

120はある数の0.3倍です。
ある数はいくらか。

Q3

60はある数の0.3に当たる。
ある数はいくらか。

Q4

全体から
全体の0.4倍を引いたら
120円になった。

全体は何円ですか。

Q5

ある数から
その数の0.4倍を引き
次に、さらに
元の数の0.2倍を引いたら
96になった。

ある数はいくらですか。

Q6

ある品物の値段が
2割ねあがりして
600円になりました。

初めの値段はいくらですか。

Q7

A君の持っているお金の
0.6倍と0.4倍との差は
200円です。

A君の持っているお金は何円か。

Q8

B君のお金は、A君の0.7倍で
C君のお金は、A君の0.3倍です。
B君とC君の持っているお金の差額は
800万円です。

A君は何円持っているのですか。

Q9

200万円は
A君の持っているお金の
80%にあたります。
A君は何円持っているのですか。

Q10

B君の持っているお金から
20%を引いたら
2000万円になった。
全体は、何円ですか。

Q11

預けていたお金の
10年分の利息40%が加わり
70万円になった。
元、預けていたお金は何円ですか。

第4章 売買算

Q1

1000 円で買ってきた品物を
5 割の利益を見込んで
売ることになりました。

- ① 原価は何円ですか。
- ② 定価は何円ですか。
- ③ 利益は何円ですか

Q6

1000 円で買ってきた品物に
1500 円の値段をつけました。

しかし、
300 円安くして売りました。

原価、定価、値引き額、売価、利益は
それぞれ何円ですか。

Q2

原価 3000 円の品物に
2 割の利益があるように
定価をつけました。

- ① 利益は何円ですか。
- ② 定価は何円ですか。

Q7

1200 円で買ってきた品物に
5 割の利益を見込んで定価をつけました。
定価は何円ですか。

Q3

原価 3000 円の品物に
3 割の利益があるように
定価をつけました。

利益額を求めないで、
直接、品物の定価を求めなさい。

Q8

原価が 1800 円の品物に
3 割の利益があるように
定価をつけました。
定価は何円ですか。

Q4

利益を 3 割とした品物の
利益額が 1200 円です。

- ① 品物の原価は何円ですか。
- ② 品物の定価を求めなさい。

Q9

利益を 3 割とした品物の
利益額が 1800 円です。

- ① 品物の原価は何円ですか。
- ② 品物の定価は何円ですか。

Q5

利益を 2 割とした品物の
定価が 3600 円です。

- ① 定価は原価の何倍ですか。
- ② 原価は何円ですか。
- ③ 利益は何円ですか。

Q10

2 割の利益を見込んで
定価を 1800 円にしました。
原価および利益額を求めなさい。

第5章 仕事算 (1)

Q1

ある仕事を、Aならば10日
Bならば15日で仕上げます。

- ① A1人では
1日に全体のどれだけできますか。
- ② B1人では
1日に全体のどれだけできますか。
- ③ AとBと一緒に仕事をすると
1日に全体のどれだけできますか。
- ④ 2人ですれば
何日でできあがりますか。

Q2

ある仕事を
Aならば20日
Bならば30日で仕上げます。
次の①～⑨の問いに答えなさい。

- ① A1人では
1日に全体のどれだけできますか。
- ② B1人では
1日に全体のどれだけできますか。
- ③ AとBと一緒に仕事をすると
1日に全体のどれだけできますか。
- ④ 2人ですれば
何日でできあがりますか。
- ⑤ A1人では
2日でどれだけの仕事ができますか。
- ⑥ A1人では2日仕事をすると
どれだけの仕事が残りますか。
- ⑦ AとBが共同して
4日仕事をすると
どれだけの仕事ができますか。
- ⑧ Aが5分の2をするには
何日かかりますか。
- ⑨ Bが5分の3をするには
何日かかりますか。

Q3

ある仕事を
Aならば20日
Bならば30日で仕上げます。
AとBが共同して4日仕事をして
残った仕事をBが1人で仕上げると
あと何日かかりますか。
次の①～⑥の順で考えなさい。

- ① Aの1日分の仕事量
- ② Bの1日分の仕事量
- ③ A、B2人の1日分の仕事量
- ④ A、B2人の4日分の仕事量
- ⑤ 残った仕事量
- ⑥ 残りを仕上げるのに要した日数

Q4

ある仕事をしあげるのに
Aならば20日
Bならば30日かかります。
AとBがいっしょに仕事を始めましたが
途中からAが休んだので
残りはB1人でしました。

- ① Bのした仕事は
全体のどれだけにあたりますか。
- ② Aのした仕事は
全体のどれだけにあたりますか。
- ③ Aは、何日仕事をしましたか。

Q2

ある仕事を、Aならば20日、
Bならば30日かかります。
Aが全体の5分の2をしたあと
残りをBが仕上げました。
全部で何日かかりましたか。

第6章 食塩水の濃さ

Q1

食塩 10 g
食塩水 200 g の中にあるとき
濃さは何%か。

Q2

食塩 10 g を
水 100 g の中に溶かした時
濃さは何%か。

Q3

食塩水 200 g のうち 5% が食塩です。
食塩の重さは何 g ですか。

Q4

濃さ 5% の食塩水 200 g の中に
食塩は何 g 溶けていますか。

Q5

食塩 10 g を水に溶かして
5% の濃さの食塩水をつくりたい。
何 g の食塩水ができるか。

Q6

食塩 10 g を水に溶かして
濃さ 5% の食塩水をつくりたい。
水は何 g 必要ですか。

Q7

濃さ 5% の
食塩水 300 g から水を蒸発させて
100 g の食塩水にしました。
濃さは何%になりましたか

Q8

濃さ 5% の
食塩水 600 g を蒸発させたところ
15% になりました。
何 g の水を蒸発させましたか。

Q9

食塩水 600 g から水を蒸発させたところ
濃さ 15%
重さ 100 g になりました。
はじめの濃さは何%でしたか。

Q10

濃さ 10% の
食塩水 200 g に
食塩を 40 g 加えました。
何% の食塩水になりましたか。

Q11

食塩水 200 g に
食塩 40 g を加えました。
すると
25% の食塩水になりました。
初め
何 g の食塩が溶けていたのでしょうか。

Q12

濃さ $X\%$ の食塩水 200 g に
食塩 40 g を加えました。
出来た食塩水は 25% でした。
初めの食塩水の濃さを求めなさい。

Q13

濃さ 20% の食塩水 400 g に
水を 1200 g 加えました。
何%の濃さになりましたか。

Q14

濃さ $X\%$ の食塩水 200 g に
水を 600 g 加えたら
 5% の濃さになりました。
初めの濃さは何%ですか。

Q15

濃さ 20% の食塩水 200 g に
水を加えたら 5% の食塩水になりました。
水は何 g 加えたのですか。

Q16

15% の砂糖水 800 g に
水を何 g 加えたら
 12% の砂糖水になりますか。

次の Q17~Q20 の問題の
 X 、 Y の値をもとめなさい。

Q17

食塩水 A は、濃さ 10% 、重さ 600 g
食塩水 B は、濃さ 5% 、重さ 900 g です。
A と B を混ぜ合わせると
濃さ $X\%$ 、重さ Y g の
食塩水 C ができる。

Q18

濃さ 10% 、重さ 600 g の食塩水 A に
濃さ $X\%$ の食塩水 B を混ぜると
濃さ 7% 、重さ 1500 g の食塩水 C ができる。

Q19

食塩水 A は、濃さ 20% 、重さ 600 g
食塩水 B は、濃さ 5% 、重さ 900 g です。
A と B を混ぜ合わせると
濃さ $X\%$ 、重さ Y g の
食塩水 C ができる。

Q20

食塩水 A は、濃さ 10% 、重さ 800 g
食塩水 B は、濃さ $X\%$ 、重さ y g です。
A と B を混ぜ合わせると
濃さ 7% 、重さ 2000 g の
食塩水 C ができる。